

## 卒業生の進路

本年度卒業生（29名）の進路先を紹介します。農大で学んだことを活かして、それぞれの進路で活躍することを期待しています。17名（約6割）の学生が、自営就農・雇用就農あるいは就農に向けた農家研修を行う等、農業生産現場で働きます。卒業後もお世話になる機会も多いと思いますが、引き続き、皆様方の応援をよろしくお願いいたします。

就農	3人	農業系企業	4人
就農のための研修	2人	公務員	1人
雇用就農 （農業法人・農家への就職）	12人	その他	1人
JA	6人		

## 農大トピックス

### 「平成28年度 農業で夢再発見研修 受講生募集」

岐阜県内で本格的に農業を始めたい方を募集します。

- <研修期間> 平成28年4月15日（金）～平成28年9月30日（金）
- <研修場所> 岐阜県農業大学校（可児市坂戸）
- <研修内容> 講義：野菜、花き、果樹、作物の栽培技術、土壌肥料、病害虫対策  
岐阜県の農業、農業基礎、農業経営、農業簿記、農産物流通  
実習：野菜・花きなどの栽培実習  
校外学習（農業視察・市場視察・地域農業調査）
- <申込方法> 専用の申込用紙により、下記受付期間中に郵便又はFAXで農業大学校教務課まで申し込みください。  
受付期間：平成28年3月1日（火）～3月25日（金）必着  
\*面接（4月7日（予定））を実施後、受講者を決定いたします。
- <問い合わせ先> 岐阜県農業大学校 教務課  
可児市坂戸938  
tel：0574-62-1226 fax：0574-62-1227

※詳しい内容や申込用紙については、岐阜県農業大学校ホームページをご覧ください。  
<http://www.pref.gifu.lg.jp/sangyo/nogyo/ninaite-ikusei/24405/study-1.html>

### 編集後記

出会は別れの始めという諺のように、今年度も卒業生を送り出す季節となりました。農業に対する様々な夢や希望を抱いて入学してきた彼ら彼女ら。2年間の寮生活でその思いをさらに固め、学び舎を巣立ちます。同じ寮にいらながらも連絡手段は、LINEというSNS時代の学生たち。就農・就職で離れ離れになっても、寮生活で苦楽を共にした仲間と繋がり、社会で活躍できる人になってほしいと願います。

# 農大だより

第28号

発行日：平成28年3月1日  
発行：岐阜県農業大学校  
可児市坂戸938  
Tel: 0574-62-1226  
Fax: 0574-62-1227

### ◇目次◇

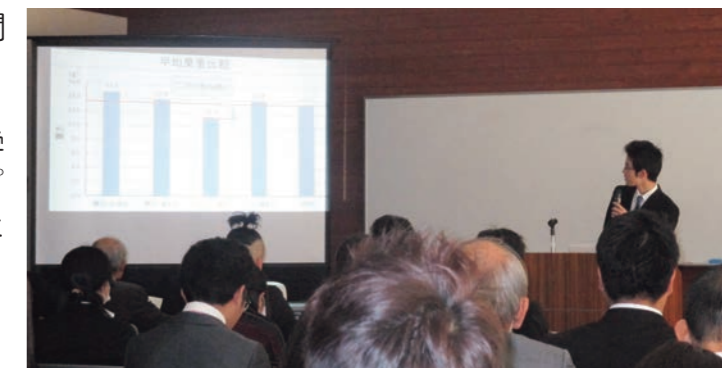
卒業論文発表会・学習成果発表会を開催しました  
東海近畿ブロック農業大学校学生研究意見発表会に参加しました  
卒業生からのメッセージ・卒業生の進路  
農大トピックス



### 卒業論文発表会・学習成果発表会を開催しました。

1月28～29日、2学年生29名が、2年間の学習のまとめとなる「卒業論文発表会」を開催しました。

講義や実習、先進農家派遣学習等校外学習で学んだことを踏まえ、学生が1人1プロジェクト（課題）として取り組んできた成果をまとめ、発表しました。



<卒業論文発表会の様子>



<学習成果発表会の様子>

2月4日、農大での学習の成果を関係者の方々に知ってもらうため「学習成果発表会」を開催しました。

1学年生2名が意見発表、2学年生8名が海外派遣学習及び先進農家派遣学習の報告、卒業論文の発表を行いました。最後に、農大生を応援する会会長の前澤様より、将来の県農業の担い手として頑張ってくださいと激励のお言葉をいただきました。

### 東海近畿ブロック農業大学校学生研究及び意見発表会に参加しました。

1月19～20日に三重県で研究発表及び意見発表会が行われました。研究発表の部に畜産学科2学年の清水大地さんが、意見発表の部に野菜・果樹学科1学年の中井美穂さんが本校の代表として参加しました。

清水さんは、「強化哺育による和牛子牛の早期離乳」と題して、人工哺育の有効性について調査した結果を発表しました。中井さんは、「農業をビジネスとして確立していくために」と題して、先進農家派遣学習や高校時代の海外農業視察の経験と農大卒業後の研修で学ぶ予定の栽培技術や経営管理能力を、我が家の農業経営に取り入れて、女性に優しい職場を作り、地元の活性化につなげたいと語り、見事に最優秀賞に選ばれました。



<発表会に参加した清水さんと中井さん>